

公表:令和 3 年 3月 25日

事業所名 ヨシア(スカイブルー)

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○				
	② 職員の配置数は適切であるか	○			基準配置を守っています。加えて加配職員も配置しています。	
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			一階にある事業所で出入り口等にも段差など無いです。	
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			CSPの形式でFBを行い、PDCAサイクルで業務改善を行っています。	
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○				
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			法人のホームページにて公表しています。	
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			外部コンサルティングを実施し、研修を経て業務改善を目指しています。	
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			園内での研修を2週間に一回、経験年数に応じた研修を月に1回、リーダー向けの研修を月に1回、その他外部研修にも参加する機会を設けています。	
	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			アセスメントを行ない、クラス会議で十分に話し合って分析して計画を作成しています。	
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			CSPというペアレントトレーニングを中心に発達支援をしています。家庭でも実施できるように養成講座やスキル練習も行っています。	

⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			クラス会議の際に活動プログラムを立案しています。職員同士活動を提案し合っ てチームで行なっ ています。	
⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			クラス会議の際に季節の活動など様々な活動を話し合い取り 入れています。	
⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			長期休みに挑戦出来る活動を事前に立案し、保護者に説明等を行って実践しています。	
⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			ペアレントトレーニングを中心に個別のスキル練習等を含めて計画し、実施しています。	
⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			事業所で集まって実施し、支援の確認やバディの確認等を行っています。	
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			フィードバックの時間や個別のSvの時間を設けています。	
⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			その日のうちに記録を完成させ、児童発達支援管理責任者が毎日チェックをし、必要があれば朝のセットアップの際などに子どもの課題を伝えるようにしています。	
⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			半年に一回、計画の見直しと作成を行っています。	
⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○				
⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			児童発達支援管理責任者が中心に連絡、参加し、事業所職員にも共有しています。	
㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			学校との情報共有を適宜行なって支援につなげています。	
㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか					

機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			発達支援センターや児童発達支援事業等と連携し、発達支援を行っています。	
	㉑	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか					
	㉒	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○				
	㉓	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		○		公園活動の時に地域の子どもと交流することがあります。	コロナ禍の為、活動自粛していますが、機会があれば交流していきたいと思います。
	㉔	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			法人で代表者が参加し、情報を共有しています	
	㉕	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			子どもたちの様子を保護者と細かくお話し、連携を行っています。	
	㉖	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			月1回のグループカウンセリング前にCSPでペアレントトレーニングを行っています。	
保護者への説明責任等	㉗	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に説明を行い、疑問や質問にもすぐにお答えしています。	
	㉘	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			保護者からの要望や悩みを随時聴いて必要な支援に繋げています。	
	㉙	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			定期的に父母のグループカウンセリングを行なっています。	
	㉚	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情があった際は苦情マニュアルに基づいて対処しています。	
	㉛	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月のクラス便りを発行し活動や行事の様子などを発信しています。	
	㉜	個人情報に十分注意しているか	○			鍵付きの書類庫で保管管理しています。	
	㉝	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			カードや時間をわかりやすく伝える配慮を行っています。	

	③⑦ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		散歩の時に会った時には挨拶をして交流しています。	コロナ禍の為、活動自粛していますが、機会があれば交流していきたいと思えます。
非常時等の対応	③⑧ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			事業所の玄関にいつでも見れるよう掲示しています。	
	③⑨ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			月に1回の避難訓練、年に2回の総合避難を実施しています	
	④① 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			毎週1回虐待防止のビデオを見て練習をしたり、アンガーマネジメントの研修を法人の研修で実施しています	
	④② どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			個別支援計画内で説明し、保護者に同意を得ています。	
	④③ 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			医師の指示書に従って対応しています。	
	④④ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			職員間でヒヤリハットを報告し、再発防止に努めています。	

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。